

NSK-Warner

Company Profile

会社案内



『Link to the Next』 ～つなげる技術で未来につなげる～

NSKワーナーは、1964年に日本精工株式会社と米国ボルグワーナー社の共同出資により創設されて以来、半世紀以上にわたり自動車産業の発展を支えてきました。両社の持つ歴史と高い技術力を融合し、一貫した研究開発体制によって、クラッチ製品の専門メーカーとしての地位を築き上げてきました。現在では、日本を含む世界4か国に生産拠点を展開し、グローバルなお客様に信頼される製品をお届けしております。

近年、私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。自動車業界は電動化の波に晒され、人々はよりサステナブルで環境に配慮した製品を求めています。このような時代の転換期において、NSKワーナーは「トルクを伝える」基盤技術に、新しい技術を融合させ、新たな顧客価値を創造することに挑戦し続けます。

我々の使命は、技術革新を通じて社会の発展に貢献することです。これからのNSKワーナーは、時代が求める社会ニーズに即応した製品とサービスを提供し、持続可能で豊かな未来の実現に向けて努力してまいります。私たちは、これからもお客様やステークホルダーと共に成長し、次なる時代への架け橋となることを約束します。

未来を見据え、革新を追求し続けるNSKワーナーをどうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役社長



企業理念

NSKワーナーは、「Link to the Next」をスローガンに、革新的な技術で未来をつなぎます。私たちは、卓越したサービス、高い業務効率と技術力を活かし、迅速かつ確かな価値をお客様に提供します。また、安全・品質・コンプライアンス・環境を重視し、社会的責任を果たすことで、持続可能な未来の創造に貢献します。お客様やステークホルダーとともに成長し、次世代へと続く架け橋を目指します。

経営姿勢

NSKワーナーは、Service Excellence（卓越したサービスを提供し続ける組織能力）、Operational Excellence（卓越した業務効率）、Conduction Technology（繋げる技術）という3つの柱で、常に革新と卓越したパフォーマンスを追求しています。この3つの柱を通じて、私たちはお客様に最高の価値、そして感動を提供し続けることを目指しています。

1. Service Excellence

顧客価値の向上を最優先に考え、お客様のニーズを先取りして考え、個々のお客様に合わせたサービスを提供します。これにより、私たちはお客様との信頼関係を強固にし、長期的なパートナーシップを築いていきます。

2. Operational Excellence

事業全体の効率を最大化し、プロセスの無駄を徹底的に排除します。TQMを基本とした、継続的な改善を行うことで、業務の精度と効果を高め、持続可能な成長を支えます。

3. Conduction Technology

先進的な技術開発を通じて市場のリーダーシップを維持し、新素材や新機能を活用することで製品のパフォーマンス向上に努めます。この“繋げる技術”を駆使して、お客様の多様なニーズに即した最適なソリューションを提供します。

私たちの事業運営において、安全、品質、コンプライアンス、環境の4つのコアバリューは不可欠な基盤となっています。従業員の安全確保、製品の品質保証、法令遵守の徹底、そして地球環境の保護を企業活動の中心に据え、社会的責任を果たしていきます。

この経営姿勢は、ステークホルダーの皆様に対する私たちの約束です。高い責任感と倫理観をもって、より良い社会の構築に邁進していきます。

国内拠点

Domestic Locations



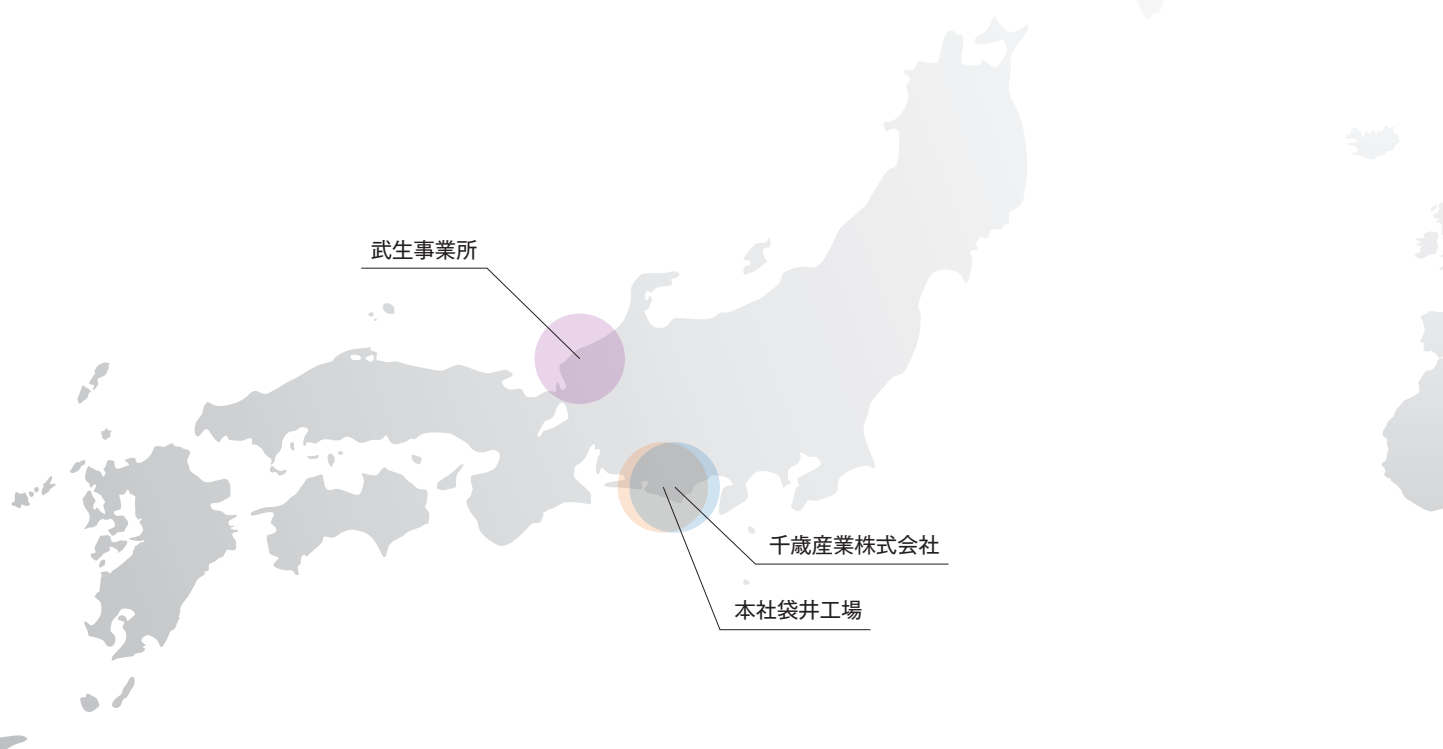
本社袋井工場
静岡県袋井市愛野2345



武生事業所
福井県越前市矢放町13-2-1



千歳産業株式会社
静岡県掛川市初馬561



海外グループ会社

Overseas Group Companies



NSK-Warner (Shanghai) Co., Ltd.

No.2518 Huancheng Road (West)
Fengxian District, Shanghai, China



PT. NSK-Warner Indonesia

Block DD-12, MM2100 Industrial Town,
Cikarang Barat, Bekasi 17520, Indonesia



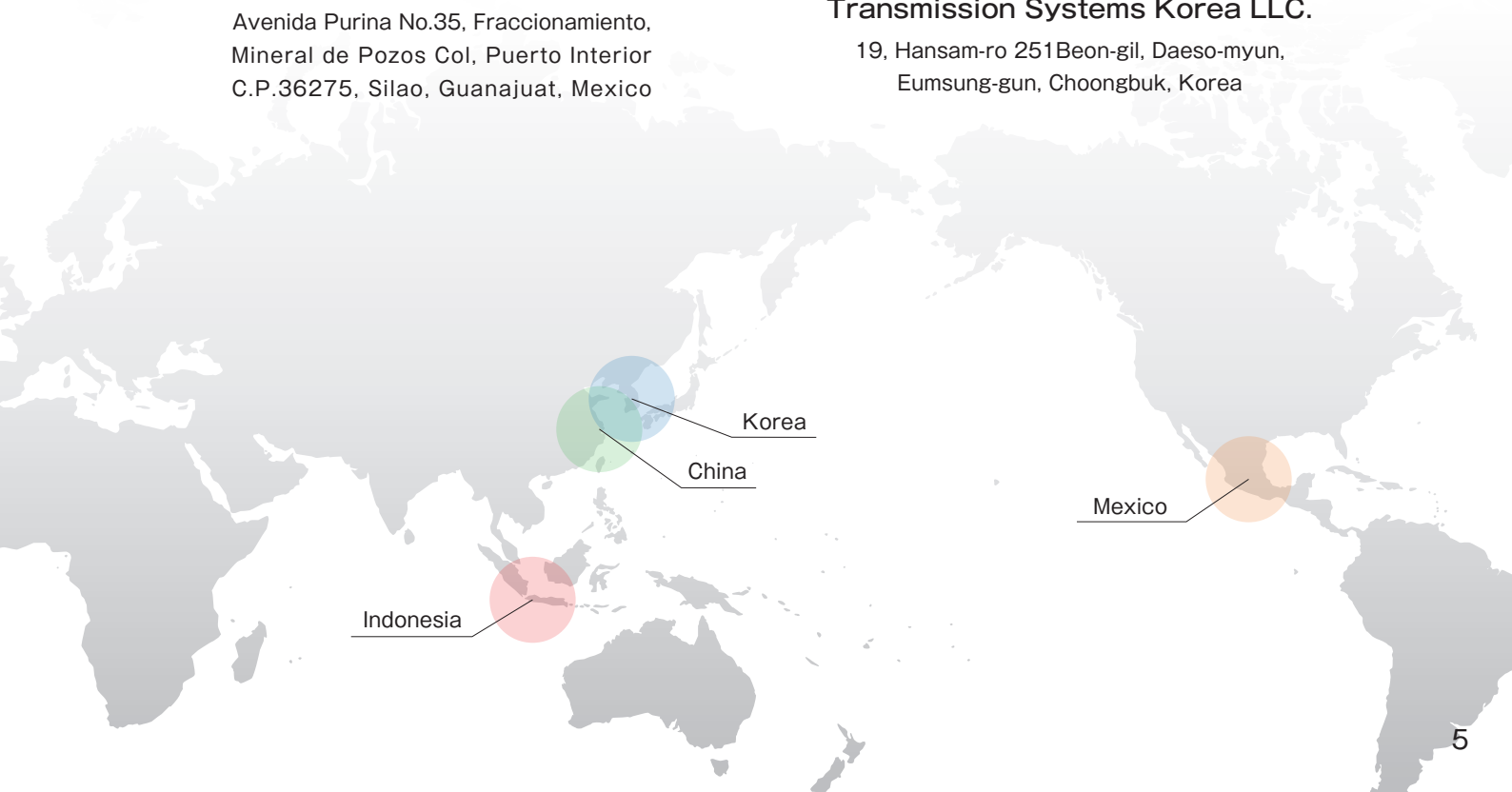
NSK-Warner MEXICO, S.A. de C.V.

Avenida Purina No.35, Fraccionamiento,
Mineral de Pozos Col, Puerto Interior
C.P.36275, Silao, Guanajuat, Mexico



BorgWarner Transmission Systems Korea LLC.

19, Hansam-ro 251Beon-gil, Daeso-myun,
Eumsung-gun, Choongbuk, Korea



『Link to the Next』 ～こんなところにNSKワナー～

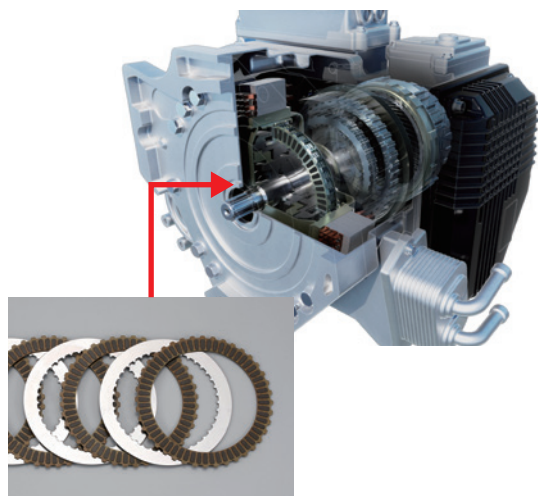
Applications



I ハイブリッド自動車 (HEV)

ハイブリッド用
 エンジン切離し・発進クラッチ (WSC)

新工法の採用により、極低温時のトルク応答性と摩擦性能の両立を実現しています。



4輪HEV オイルポンプ (O/P) 駆動用OWC

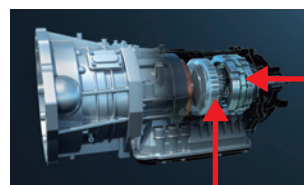
HEVのO/P常時駆動用として、エンジンとモータからの2入力1出力の構造でOWC2個が採用されています。



ハイブリッド用低ドラッグ

フリクションプレート・ワンウェイクラッチ

クラッチ内部のオイルの流体解析や可視化試験により、最大限のドラッグ低減に成功し、車両の燃費向上に貢献しています。



Ⅱ 2輪ハイブリッド車 (HEV)

2輪HEV

オイルポンプ (O/P) 駆動用OWC

HEVのO/P常時駆動用として、エンジンとモータからの2入力1出力の構造でOWC2個が採用されています。



提供：カワサキモータース株式会社様



Ⅳ 二輪・四輪バギー (ATV)

四輪バギー エンジンスタター

エンジンブレーキ用カムクラッチ

四輪バギー等のエンジン始動時とアクセルオフ時のエンジンブレーキ用として耐振動性に優れたカムクラッチが採用されています。(外輪付)



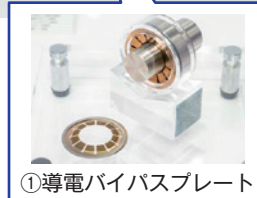
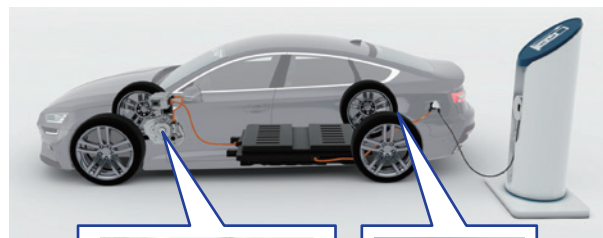
提供：ヤマハ発動機株式会社様



提供：カワサキモータース株式会社様

Ⅲ 電気自動車 (BEV)

- ①EVの高性能化、高出力化に伴いベアリングの電食を防止するための導電バイパスプレートを開発しています。
※ベアリング側面へセット構想
- ②AWD駆動車にて2WD走行時の副駆動モータ連れ廻りによる燃費ロス进行ため切り離し用(ディスコネクト)として、OWCが採用されています。
※e-Axle副軸へ搭載



①導電バイパスプレート



②OWC

Ⅴ 産業機械・建設農業機械

いろんなところにワンウェイクラッチ

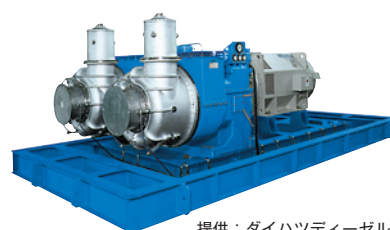
トラクタ・パワーテイクオフ (PTO) クラッチ、ガスタービン (スタター用とターニング用)、コンバイン、ロードスーパ一等に採用されています。



提供：株式会社小松製作所様



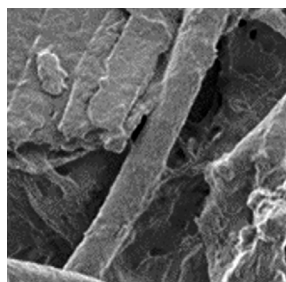
提供：ヤンマーグローバルエキスパ一株式会社様



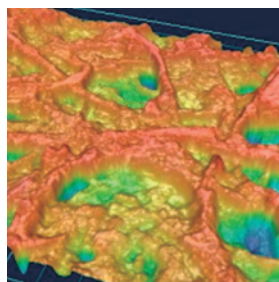
提供：ダイハツディーゼル株式会社様

I 摩擦材開発

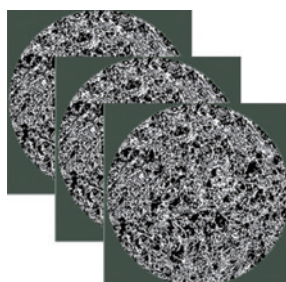
摩擦性能の向上やメカニズムの解明、摩擦材製品の開発、改良のため分析技術の向上を図っています。摩擦材の組織をミクロな視点で分析し、表面形状の高解像度(3D)での解析など多角度から情報を解析し、製品開発に活用しています。



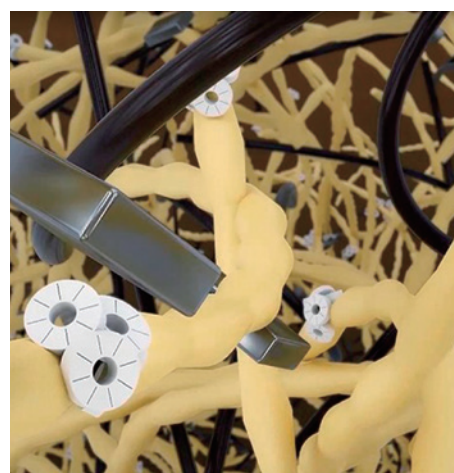
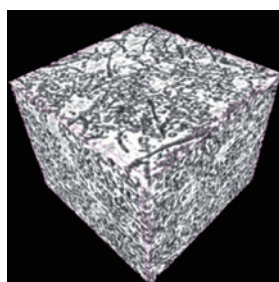
摩擦材表面の組織観察



摩擦材表面形状(3D)



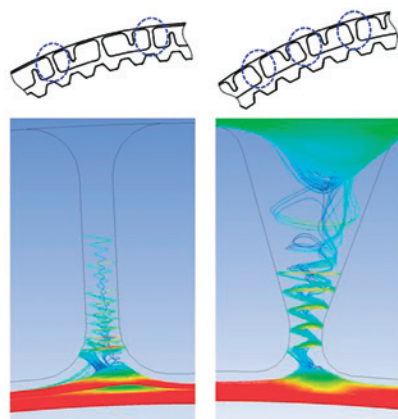
摩擦材のX線CT像



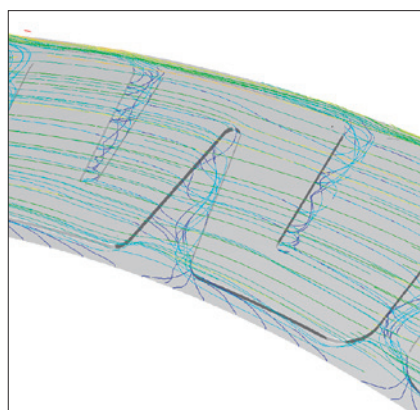
摩擦材の拡大イメージ

II フリクションプレート ドラグ低減技術

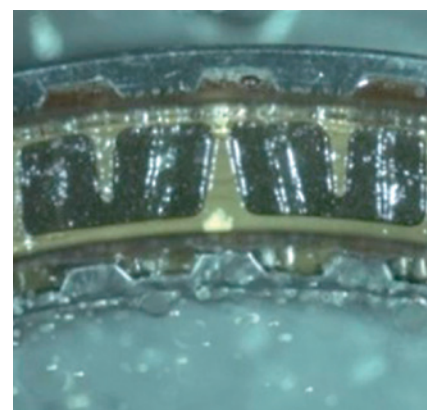
製品形状により流体の流れをコントロールすることで、液体のせん断による引きずり力を低減し、車両の燃費向上に貢献しています。



CFD解析



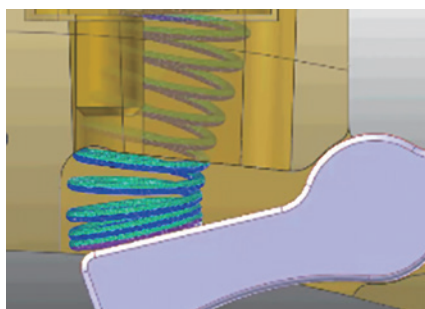
ピース形状により
ATFの流れをコントロール



検証：高速度カメラ

Ⅲ 製品開発

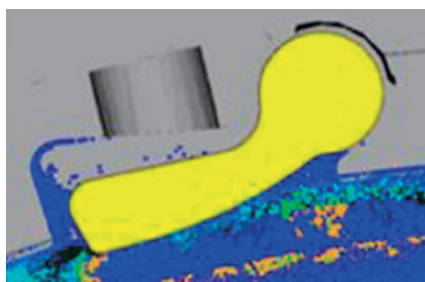
実現現象の把握技術による検証に基づき、解析手法へフィードバックを行い、解析精度の向上を図りスピーディーな製品開発を行っています。



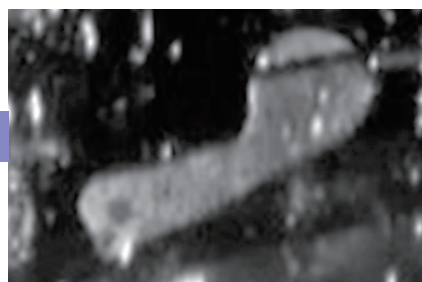
実現現象を再現



バネ挙動

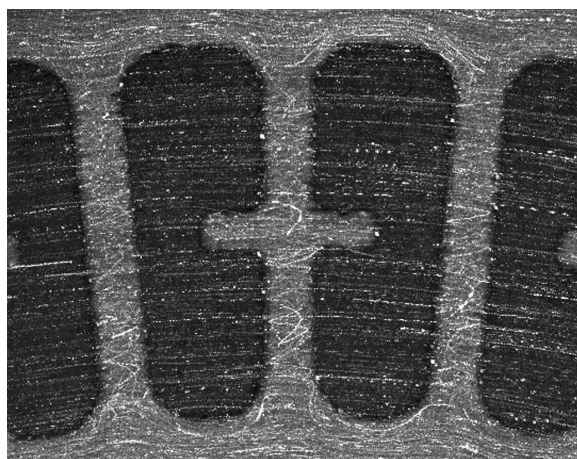


オイルの流れによる挙動



Ⅳ 解析技術

蛍光粒子によりATFの流れを見える化することで、フリクションプレートのドラッグ低減に貢献しています。



蛍光粒子を使ったATF流れ状態の観察

Ⅴ インダクション接着

摩擦材の接着に必要な加熱を高周波方式へ変更、カーボンニュートラル対応の省電力加工を推進しています。



高周波式 摩擦材接着設備

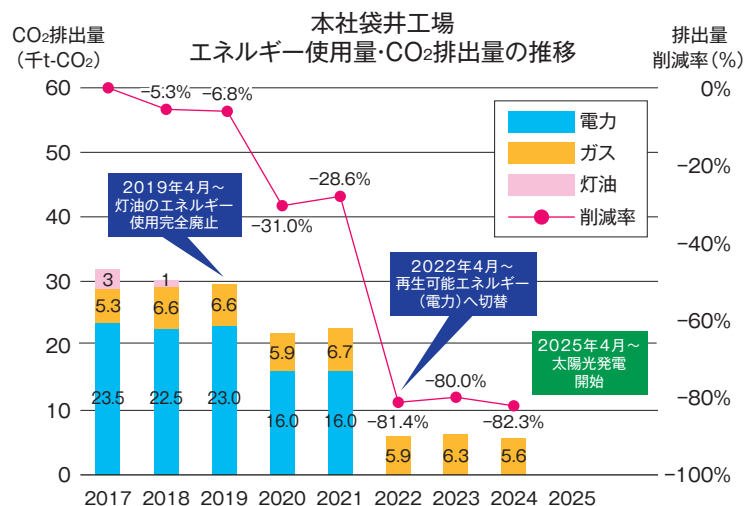
サステナビリティ

Sustainability

SDGsとの関連

I カーボンニュートラル実現に向けた取組み

電気・ガスの使用量削減と再生可能エネルギーへの転換



SDGsとの関連

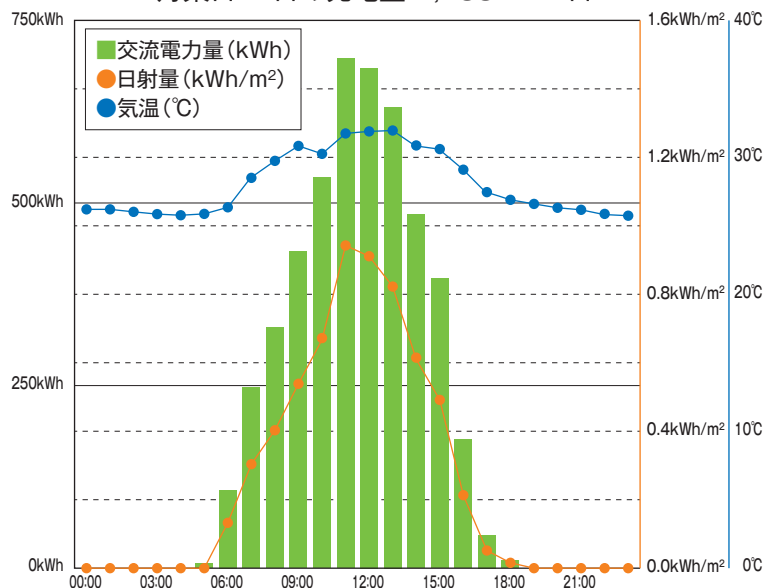
II 太陽光発電システムの導入

再生可能エネルギーの自社消費化



太陽光予測発電量：1,132MWh/年
本社袋井工場使用電力の約3%をカバー

7月某日 1日の発電量 4,788kWh/日



Ⅲ 廃棄物の削減と再資源化

廃棄物に関する主な取組み

- 全ての廃棄物はエネルギー（サーマル）または素材（マテリアル・ケミカル）として再活用
埋立て処分“ゼロ”とリサイクル率100%の継続
- 廃プラスチックの削減

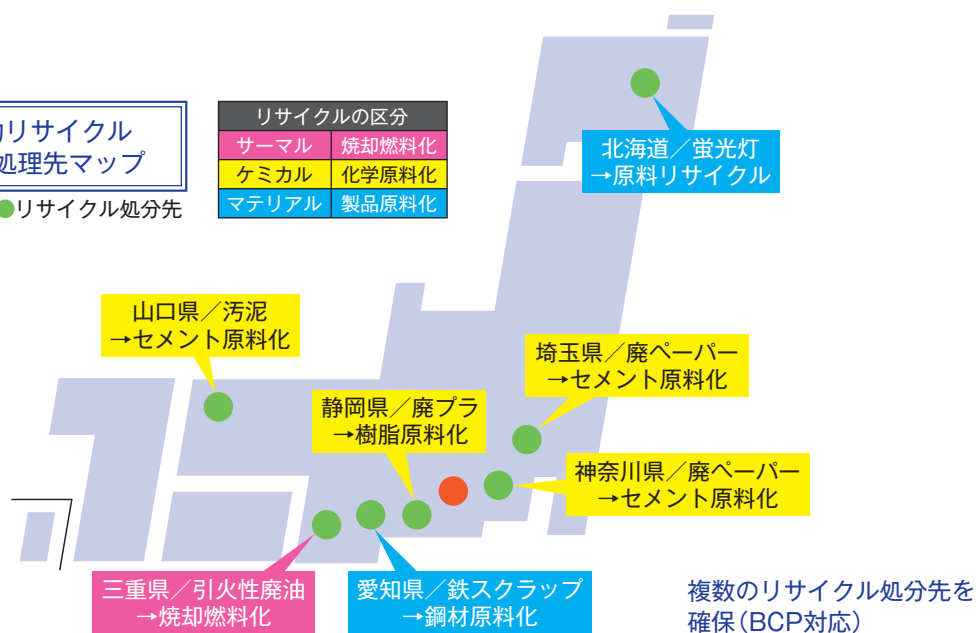
SDGsとの関連



廃棄物リサイクル
再資源処理先マップ

●生産拠点 ●リサイクル処分先

リサイクルの区分	
サーマル	焼却燃料化
ケミカル	化学原料化
マテリアル	製品原料化



Ⅳ 地域との共生

SDGsとの関連



植樹・近隣美化活動



生物多様性保全活動



NSK-Warner



NSKワーナー株式会社

〒437-8545 静岡県袋井市愛野2345

TEL 0538-43-1121(代表)